

プレスリリース

2023年11月7日

報道関係者各位

AutoForm Assembly R11 – BiW アセンブリ・プロセスのバーチャル最適化

プレス成形プロセスおよび BiW アセンブリ・プロセスのソフトウェア・ソリューションを提供する世界有数のサプライヤーであるオートフォーム社は、最新のソフトウェア・バージョン AutoForm Assembly R11 を発表しました。この最新バージョンには、接合工程、組立工程、BiW の寸法精度を中心に多くの強化機能や新機能が搭載されています。AutoForm Assembly R11 をご活用いただくことで、品質目標を容易に達成することが可能になり、また品質改善のトライアンドエラーも大幅な削減が見込まれます。

AutoForm Assembly R11 は、BiW アセンブリ・プロセスのバーチャル最適化を促進します。接合工程、組立工程、BiW の寸法精度を中心に開発された主な新機能や強化機能は以下のとおりです。

- **レーザーライン溶接のサポート:** 最新バージョンでは、レーザーライン溶接の熱的効果を考慮することができます。この接合工程の新たなオプションでは、溶接速度、電力、入熱効率を工程パラメータとして指定することで、熱影響部の熱負荷を計算できます。局所的なひずみと応力の変化から、アセンブリの寸法精度に対する熱的効果の影響を判断できます。
- **実部品形状を考慮したアセンブリのシミュレーション:** 初回プレス部品を入手できる工程設計の段階でも、アセンブリのシミュレーションを実行できます。最新バージョンでは、ひずみ、応力、板厚分布など、単品プレス部品のシミュレーション結果を製造現場でスキャンした部品形状へマッピングできます。このようなマッピングによって、実際に製造したプレス部品の状態をより正確に反映させることが可能になります。実際の形状やプレスの物理的状態を考慮することで、組み立て部品のシミュレーションの結果精度が高まるため、これはアセンブリのシミュレーションへ入力する情報の中でも特に重要です。
- **現場とシミュレーションの整合性:** 最新バージョンでは、組立工程や測定工程の拘束条件を定義する機能が強化されました。工程定義をより適切に管理できるようになり、現場との整合性をより高めることができます。

様々な新機能や強化機能をご活用いただくことで、初期のフィージビリティ検討から工程設計、そしてトライアウトや生産サポートへ至るまで、アセンブリ・プロセスの設計業務に最適な環境を構築することができます。

オートフォーム社について

オートフォーム社は、プレス成形および BiW アセンブリ工程のソフトウェア・ソリューションを提供しています。400 名以上の社員を擁するオートフォーム社は、製品の製造可能性、金型および材料のコスト計算、ダイフェース設計、バーチャルなプレス成形、そして BiW アセンブリ工程の最適化に対応するソフトウェアのリーディング・プロバイダとして広く認知されています。大手自動車メーカー 20 社やほぼすべての関連企業が、AutoForm を利用しています。スイスのチューリッヒを本拠として、その拠点網はドイツ、オランダ、フランス、スペイン、イタリア、チェコ、スウェーデン、アメリカ、メキシコ、ブラジル、インド、中国、日本、韓国に広がっています。その他 10 カ国以上に代理店を設けています。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。

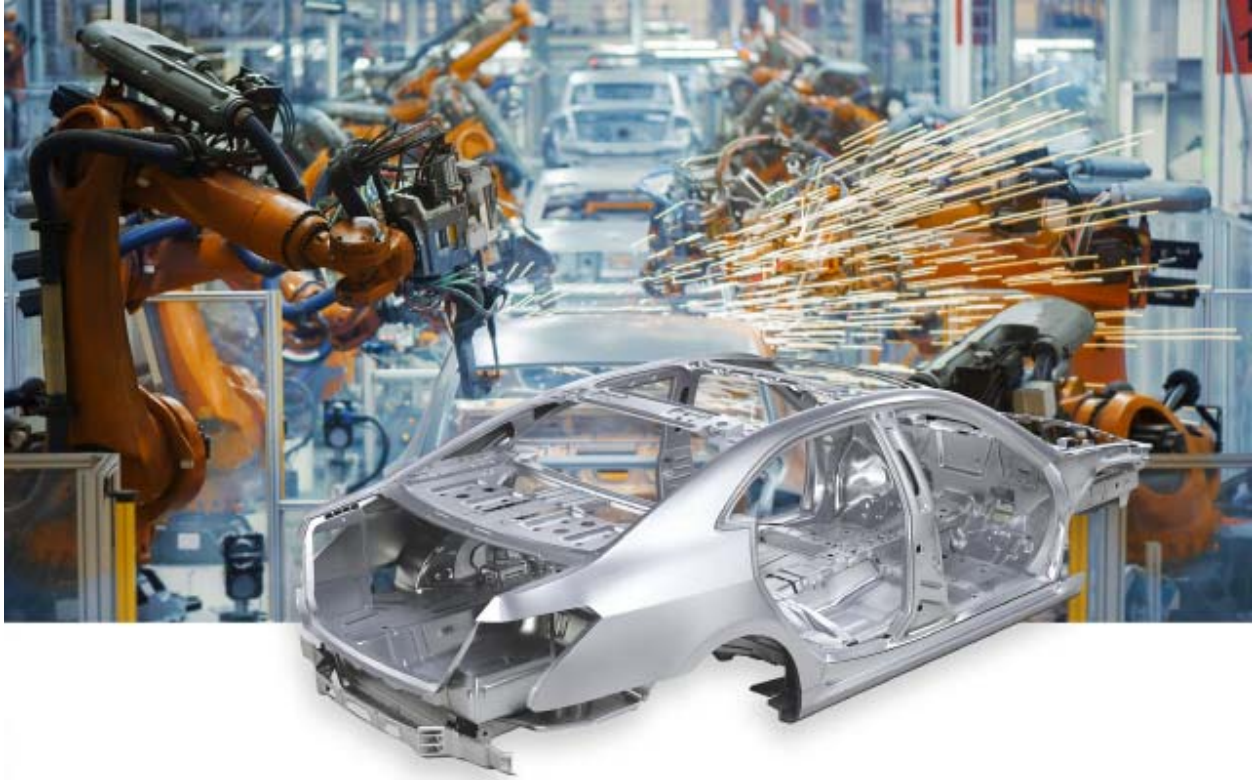
www.autoform.com

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

オートフォームジャパン株式会社 担当: 坂本

〒105-0021 東京都港区東新橋 2 丁目 3 番 17 号 MOMENTO SHIODOME 3 階

TEL: 03-6459-0881 / E-mail: marketing@autoform.jp



AutoForm Assembly R11 を有効活用することで品質目標を容易に達成でき、また品質改善のトライアンドエラーも大幅に削減できます。

高解像度の画像データが必要な場合はお問い合わせください。